

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月27日(17:30~19:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	小泉(千) 太田 望月(慧) 渡仲 鈴木(直) 川崎 工藤 山口 山川 牧野 町田 後藤 小泉(有) 望月(郁) 酒井 鈴木(眞)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	13	1	0	16

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 個人カルテの書式を変更し、NS、CW、CMの記載欄を作成することで、利用中の支援、相談等を記録に残し、より日々の様子が把握しやすく、経過が追えるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 個人カルテの書式の変更や職員間情報共有日誌の活用により情報の共有はしやすくなった。 カンファレンスの時間を変更したことで短時間勤務職員も参加する事ができるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	14	0	0	16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5	11	0	0	16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	8	8	0	0	16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	14	0	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> サービス開始前に早めに情報を伝達しミーティングを行うことにより情報の共有がスムーズな受け入れができています。 ケアプランに沿った計画書がいつでも閲覧できる環境があり、必要とされる支援が確認できる。 個人カルテを変更したことにより1日を通じて誰もが記載できる状態となり、支援時の様子がわかりやすく情報を共有しやすくなった。 職員間情報共有日誌の活用にて利用者様の急遽の変更や注意点等への配慮ができる。 カンファレンスを15時30分から開催することで短時間勤務者も情報の共有がしやすくなった。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 職員間情報共有日誌の活用により急遽の変更等、情報を共有できるが、個人カルテに変更理由が転記されていない事があり、理由や経過が不十分な面がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 職員間情報共有日誌に記載する内容を個人カルテに反映できるように記載方法について検討する。 申し送り時間の検討をし、短時間勤務職員も参加できる環境を作る。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

--	--

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー	小泉（千）太田 望月（慧）渡仲 鈴木（直） 川崎 工藤 山口 山川 牧野 町田 後藤 小泉（有）望月（郁）酒井 鈴木（眞）
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	12	2	0	16

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急的な支援では事後に記録に残し全職員が情報共有できるようにする。 ・個々の利用者様の「出来る事」「出来ない事」「自宅での過ごし方」「やりたい事」を全職員で聞き取りを行い、深く利用者様の全体像を知り、個別支援に繋げていく。 ・個別支援への意識を高めるためにケアプランや小規模計画書の見かたの講習を行い、一人一人のニーズの違いを職員が意識できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有のために職員間情報共有日誌を作成し活用している。 ・聞き取り調査を実施した事で利用者様の全体像が見えてきた。個別支援に繋がられた部分と感染症拡大防止の為に取組みなかった事も多い。 ・ケアプランや小規模計画書の見方の講習を行い、計画書もいつでも閲覧できる環境を整えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	3	10	3	0	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2	11	3	0	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	2	9	5	0	16
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	10	5	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人一人担当を決め、本人のやりたい事を聞き取り少しずつ実行している。また午前午後集団での作業を行わずその方の出来る事に着目し、雑巾縫いや数合わせ、麻雀、散歩などを行い、生活リハビリで洗濯物干しや洗濯物たたみ等を行う事ができている。（意識して関わりが持っている） ・ケアプランや小規模計画書について研修を行うことができた。ケアプランに沿った計画書が常に閲覧でき、当面の目標やニーズなど目にする事ができる。また気になった事や変化等を計画書に記載しカンファレンスに繋げている。 ・定期的カンファレンスを実施し、職員間で話し合いが持っている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取り調査では「ご自宅での過ごし方」までは上手く反映できていない。利用者個々のニーズは把握できていたが、外出支援や地域への行事への参加ができない状況だったため実践に移せなかった。 ・個別支援の振り返りが不十分である。 ・会話の中からご本人様のやってみたい、こうなったら良いなという想いを引き出せればもっと良かった。 	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに沿った小グループ活動や個別支援の実践が今後更にできるように工夫をする。 ・定期的な聞き取り調査を実施し、また支援の結果や振り返りの機会を設定して次の活動につなげられるようにしていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月27日(17:30~19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 小泉(千) 太田 望月(慧) 渡仲 鈴木(直)
川崎 工藤 山口 山川 牧野 町田 後藤
小泉(有) 望月(郁) 酒井 鈴木(眞)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	13	1	0	16

前回の改善計画

- ・情報はCMから得る事が多いが、送迎時にご家族様との会話から自宅での様子や以前の暮らしなどを聞いたり、支援中にご本人様との会話から知り得る事も多いと考える。職員一人一人が利用者様の生活を知る意識を高める為「出来る事」「出来ない事」「家での過ごし方」「やりたい事」の書式を作成し、担当制にして聞き取りを実施する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・送迎時等においてご家族様との会話からご自宅での過ごし方を意識して聞くようにしており、支援時の様子もお伝えするようにしている。
- ・生活スタイルや人間関係は聞き取り調査だけでなくケアプランに目を通すようにしている。
- ・送迎時に近隣の方とお会いする機会があれば挨拶を交わしお話をするようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	8	8	0	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	11	0	0	16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	9	5	0	16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	11	0	0	16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	15	0	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人への聞き取り調査をしたことにより把握出来た事も多い。
- ・基礎的な介護や個々に合わせた介護支援はできている。
- ・以前に比べ利用者様について知ろうとする意識は高くなり、関わるようになった。
- ・体調変化や言動等、職員間で情報共有している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・本人を取り巻く背景が把握しきれていない。
- ・本人のニーズや状況に沿うためのより良い支援が不十分であると感じている。
- ・本人の声にならない声を言語化できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・定期的な聞き取り調査の実施を行い、支援に反映させていく。
- ・カンファレンスや会議の時間帯の調整を行い、より多くの職員が出席できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月27日(17:30~19:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 小泉(千) 太田 望月(慧) 渡仲 鈴木(直)
川崎 工藤 山口 山川 牧野 町田 後藤
小泉(有) 望月(郁) 酒井 鈴木(眞)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	9	6	1	16

前回の改善計画

- ・民生委員の方々からの声を聴いて、地域の皆様に貢献できる研修等を実施していく。
- ・職員全員で利用者様の自宅での過ごし方を聞き取りしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・感染症拡大予防の為推進会が中止となりまた地域に貢献できる研修等の実施はできなかった。
- ・職員全員で利用者様のご自宅での様子について聞き取り調査を実施した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	15	0	0	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	13	2	0	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	13	2	0	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	10	6	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・サービスを開始しても地域の方との交流が切れてしまわないように利用曜日を調整している。
- ・緊急性の高い利用者様の近隣の方と連携を持つように挨拶等を行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・新型コロナ感染拡大防止のため、面会制限等の実施に伴い地域との関りが持てなかった。
- ・研修は定期的実施しているが地域に貢献まではできていない。
- ・ケアマネジャーは地域資源や地区との関りがあるが、介護職等の現場職員は関わる機会がなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・定期的に関き取り調査を実施し、支援に繋げていく。
- ・民生委員や地域の資源等を把握するための取り組みを行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月27日(17:30~19:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	小泉(千) 太田 望月(慧) 渡仲 鈴木(直) 川崎 工藤 山口 山川 牧野 町田 後藤 小泉(有) 望月(郁) 酒井 鈴木(眞)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5	10	1		

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 個人カルテの書式を変更して、全職種、全職員が記載できるものに変更をする。 通いや宿泊の施設での過ごす時間の見直しを行い、利用者様のニーズや生活スタイルに合わせた個別支援や小グループ化を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 個人カルテの書式を変更し、全職種、全職員が記載できるものに変更をした。 利用者様個々のニーズの聞き取り調査を実施し、本人のやりたい事を実践するために計画を立てたが感染症予防のため実施する事ができない内容も多かった。 施設での過ごし方については利用者様の状態や意向に沿って小グループ化での活動や個別支援を行っているが不十分な点がある。今後更に活動に結び付けていきたいと考えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	8	7	0	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	9	1	0	16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	13	0	0	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	12	1	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 体調の変化に合わせて急遽の訪問や宿泊に切り替えるなど柔軟に対応できている。 緊急保護的に対応することもあった。 利用者様に合わせた個別支援や臨機応変に対応するよう意識して支援をしている。 支援が困難なケースについては、以前より包括支援センター等に相談を行うようになった。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 地域の資源の把握、民生委員の方の把握、近隣の方との交友関係の把握が不足している。 職員間の情報共有についてはある程度できているが、ニーズに応じた小グループ活動や個別支援は不十分と考える 交代勤務や短時間勤務等において、情報の共有がタイムリーにできない時がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ミーティングの時間の検討を行い、なるべく多くの職員が参加できる体制を整えていく。 今後も包括支援センターや行政、民生委員との関わりを持ち、地域の資源を使用していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月27日(17:30~19:00)
------------------	-----	-------------------------

6. 連携・協働	メンバー	小泉(千) 太田 望月(慧) 渡仲 鈴木(直) 川崎 工藤 山口 山川 牧野 町田 後藤 小泉(有) 望月(郁) 酒井 鈴木(眞)
----------	------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?			5	11	16

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 不審者対策の研修は実施する。事業所として、地域の方々が自由に訪れる事ができるオープンな施設でありたいが、不審者侵入時の利用者様の安全確保のため、どのような対応が望ましいか、グループホームと一緒に話し合いの場を持ち、対応策を検討する。 今後も担当者会議に職員も出来る限り出席できる環境を作り、利用者様を取り巻く各事業所との連携を図る事で、職員の意識も高めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 不審者対策の研修やグループホームとの話し合いの場を持つ事、対策を検討する事ができていない。 担当者会議等においては感染症拡大防止のため少人数での実施が望まれた為、現場職員の会議への出席は少なかったが、書面に支援時の様子等について報告する場を設けた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		16			16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		2	5	9	16
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		2	7	7	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		3	7	6	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 各専門職と連携を取る為に電話にて連絡をこまめに行っている。 入退院時に病院等と連携を図っている。 登録者以外の相談や見学が度々あり対応をした。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 不審者対策はできていない。グループホームとの話し合いができていない。 新型コロナウイルス感染症拡大予防の為地区行事の中止により参加ができていない。 各機関との会議は感染症対策の為、書面や電話でのやり取りが多く、現場職員の出席は少なかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> グループホームと話し合いをし、不審者対策をマニュアル化する。 新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら地区行事に参加をしていく。また担当者会議等に現場職員が参加できるように調整し、ご自宅での様子やご家族様の意向を聞く機会を設け支援に反映する 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年11月27日(17:30~19:00)
7. 運営	メンバー	小泉(千) 太田 望月(慧) 渡仲 鈴木(直) 川崎 工藤 山口 山川 牧野 町田 後藤 小泉(有) 望月(郁) 酒井 鈴木(眞)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?			10	6	16

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方との関りを増やし地域で困っている事や、地域で困っている方に対し事業所として何が できるのか考えていく。 ・今後も地域の行事への参加をし、地域との関りを深めていく。 ・ヒヤリハットの記載は継続して行い、当日に対応策を検討し全職員が周知できるようにする。 また件数だけでなく、検証をしていく。
---------	---

前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方とのかかわりの機会が昨年度よりも持つ事ができなかった。 ・ヒヤリハットの記載は継続して実施しており、当日に対応策を検討、書面に記載し職員が周知できる 形となっている。また目を通した職員は書面に印を押すようにしている。 事故対策委員による集計や会議等において検証を行っており、半期に一度見直しを実施している。
------------------	---

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	3	11	2		16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	11	2		16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	7	6		16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		7	7	2	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・意見や苦情に対してはしっかりと受け止め反映や改善を行っている。 ・職員として意見は発言できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策の為、地域とのかかわりができない状況にあった。 ・利用者様、ご家族様からの要望が他利用者様の今後の生活に大きく影響を及ぼし、また行政を含めた 検討内容の為、即座に問題解決に至らないケースがあった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も職員が自分の意見を発言できる環境作りをしていく。 ・利用者様、ご家族様の意見や苦情を真摯に受け止め改善に向けて取り組んでいく。 ・地域の方々が気軽に立ち寄れる施設作りを行う(地域の行事への参加、出前講座等を検討する) 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月27日(17:30~19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 小泉(千) 太田 望月(慧) 渡仲 鈴木(直)
川崎 工藤 山口 山川 牧野 町田 後藤
小泉(有) 望月(郁) 酒井 鈴木(真)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	13			16

前回の改善計画

- ・職員一人一人の目指す介護像をヒヤリングし、本人が望む研修や経験年数を考慮し、研修計画を作成する。
- ・職員が利用者様の為に実施したいと思う個別支援や小グループ活動が実施できる環境作りを行い職員の責任感と意欲の向上に繋げる。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・職員との面談にて利用者様への想いや今後どのような支援をしていきたいのかヒヤリングができた。
- ・個々に合わせた研修計画を立てたが研修の中止や延長等により予定が大幅に狂ってしまい、また個別支援や小グループ活動も感染症拡大予防や面会制限により実践できなかった内容も多いがその中で出来る事や内容を変更して実施した。職員も意識して業務に取り組む姿勢がみられた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	11			16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	6	8	2		16
③	地域連絡会に参加していますか		2	6	8	16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	15			16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・経験年数を配慮した研修計画がある。内外共に研修への参加ができている。
- ・個別支援や小グループ活動ができる環境になりつつあり、職員も意識して関わりをもっている。
- ・リスクマネジメントはその都度、対応策を検討し実施している。また半期で検証もしており発見、観察などから問題意識を持つようになった。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・11月末の時点で16人中4人が外部研修に参加できていないが今年度中には参加の予定をする。
- ・地域連絡会への参加ができていない。
- ・リスクマネジメントに対する職員の意識の差を感じる

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・法人として望む介護について会議等を通じて説明していきながら、内部研修を実施する。
- ・本人が望む研修に参加できるように調整をしていく。
- ・リスクマネジメントは継続して行い、半期に1度は検証を実施していく。
- ・地域連絡会に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月27日(17:30~19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 小泉(千) 太田 望月(慧) 渡仲 鈴木(直)
川崎 工藤 山口 山川 牧野 町田 後藤
小泉(有) 望月(郁) 酒井 鈴木(眞)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	12	2		16

前回の改善計画	
・人権の尊重やプライバシーの保護については年に1回職場内研修を開催する。 ・書式を置いたままその場を離れる時は閉じてから席を立つように周知する。 ・職員の言動が気になった時は職員間で注意し合える関係性を作る。	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	10	4	2		16
②	虐待は行われていない	12	4			16
③	プライバシーが守られている	9	5	2		16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10	6			16
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	6	2		16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・拘束や虐待はなく、成年後見制度の活用もしている。 ・成年後見制度や身体拘束廃止等の研修を行っており、以前より職員の意識は高まっていると感じる。 ・席を離れる時に書類を閉じるように意識している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・同時に何人かの利用者様に支援が必要となった状況の時には危険度に合わせて優先順位を考え支援に当たっているため待っていただかないとならない方が出てしまう。その際にスピーチロック(ちょっと待って)をかけてしまう場面がある。 ・プライバシーには配慮しているつもりではあるが、無意識に利用者様に背を向けている場面や職員間の会話をしている場面を目にする事がある。 ・職員の気になる言動に対しその場ではっきりと注意し合える関係性については不十分である。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・身体拘束廃止、人権の尊重、プライバシーの保護(個人情報の管理)の研修を実施し意識を高めていく。	

法人名	社会福祉法人 博美会	代表者	近藤信人
事業所名	小規模多機能型ホーム 富士の里	管理者	近藤信人
出席者	市町村職員 1人	知見を有するもの 人	地域住民・地域団体 3人
		利用者 人	利用者家族 1人
		地域包括支援センター 人	近隣事業所 人
		事業所職員 6人	その他 人
			合計 11人

法人・事業所の特徴

- ・食事は栄養士の献立により、3食手作りをし、極力加工品を使わないように提供している
- ・自立支援に向けた、生活動作向上の取り組みをしている。
- ・地域で行う行事や季節に合わせた外出を行い、地域交流を楽しんでもらっている。
- ・運営母体に医療法人があるので、医療連携が取りやすい体制になっている

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	個人カナルデの書式変更、ケアプラン、小規模計画書の見方講習の実施	バラバラになっていた書式を整理しまとめる事で利用者様の情報を把握しやすくなった。計画書の見方講習を実施した事でニーズに沿った支援に意識する事ができるようになった。	<ul style="list-style-type: none"> ■事項評価と出来ていない点の差が問題。指導面に原因があるのではないかと。 ●本人のニーズに対する職員の意識が高まるにつれ、出来ていない点に気づけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ※会議において書類記載方法の見直しと統一化を実施し、誰が見ても経過が追えるようにしていく ※職員の意識が高まった事で出来ていない点ばかりが目が行ってしまいうたため定期的な振り返りを行い、自信を持って業務に取り組みできるようにする ※パート職員もカンファレンスや会議に出席できるように時間の調整を行い、チームケアを目指す
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者の個々の希望に沿うことのできる活動を企画したい ご家族との関わりをより親密にしたい	聞き取り調査を実施し小グループ活動や個別支援の企画をし、達成出来た事もあがるが企画倒れになってしまった事柄もあり残念に思う 聞き取り調査でご家族様の意見も聞けたため継続して行っていきたい	<ul style="list-style-type: none"> ■コロナ禍の中、評価はできない。 ●チームケアを実施するために更に積極的な職員間の情報共有や意見交換のための環境整備が必要である 	<ul style="list-style-type: none"> ※パート職員もカンファレンスや会議に出席できるように時間の調整を行い、チームケアを目指す
C. 事業所と地域のかかわり	小規模が主催する行事を企画し地域に後継していききたい 職員個々の地域での貢献についても検討したい	感染対策への取り組みが最重要課題となり、地域とのかかわりができなかつた。 職員個々の地域での貢献は地区で行う草取り等には意識して参加できた	<ul style="list-style-type: none"> ■コロナ禍で地域の行事等中止とされている。 ●感染症予防の観点から、行事の企画実行は厳しいが職員個人が地域の活動に参加する事は可能のため今後も地域に貢献できると良いと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ※職員個々の地域での貢献に取り組む
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取り組み	地域の皆様が参加できる研修会を実施したい	感染対策が最重要課題となり、研修会の開催はできなかつた。	<ul style="list-style-type: none"> ■コロナ禍で地域の行事等中止とされている。 ●地域へ活動参加を希望されていた利用者様への個別支援ができなかつた事が残念に思う 	<ul style="list-style-type: none"> ※本人、家族のニーズ聞き取り調査を定期的に実施し、利用者様への個別支援、小グループ活動を積極的に実施する
E. 運営推進会議を活かした取り組み	事業所報告については写真を添付し行事等を「見える化」したい。 様々な機関のスタッフを招き、積極的な意見交換の場としたい	報告書には毎回写真を添付し「見える化」を実施した。 面会制限を実施したため積極的な外部との意見交換はできなかつた。	<ul style="list-style-type: none"> ■書面での活動は理解できる。 ●活動報告書に写真を添付した事で利用者様の表情や内容が伝えられた事は嬉しく思う 	<ul style="list-style-type: none"> ※活動報告書は写真の添付をし「見える化」の継続を実施する ※推進会議中止の際には電話にて意見交換ができる環境を作る
F. 事業所の防災・災害対策	不審者対応の研修を行いたい 毎月行う訓練で様々な状況を想定して実施をしたい	不審者対応の研修実施できなかつた。 毎月、様々な状況を想定し防災、災害訓練を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ●報告書にて理解できる。 ■感染症対策に追われてしまいが、いざという時のために研修は必要だと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ※新たに防災管理者を養成していく ※定期的な防災・災害対策の継続 ※revenge！不審者対応研修の実施